

町有林の特別会計化をする考えは

町長 一般会計の中で間に合っている



おぼろ よしおき
小原 仁興 議員

行政執行方針

質問

令

和4年度の予算編成にあたり、狙いや注力された部分について伺います。

町長 令和4年度の予算編成にあたっては新型コロナウイルス感染症対策など、住民の安全や生活を守るための施策に万全を期すと共に、ポストコロナ社会、グリーン社会、地方回帰の機運など時代の潮流を見据えた地方創生のまちづくりを強く意識した予算編成を行ったところ です。

再質問 「2050年二酸化炭素排出実質ゼロの町」を目指すがありますが、現時点でのビジョンについて伺います。
町長 下川町のこれまでの取り組みを基盤に、さらに進化・深化させ、脱炭素社会の実現や世界の持続可能な開発の実現に寄与するまちとして新たな時代を見据えたまちづくりを進めるた

め、「住み続けられる」「地域資源が循環持続する」「新たな価値を生み出す」など3つの視点で、町民の暮らしの質の向上を実現しながら、産業振興、持続可能な地域作りを進めるため、積極的に「ゼロカーボン」の実現に取り組んでいきたいと考えています。

再質問 循環型森林経営の適正化を図るためにゼロカーボンの宣言をして、しっかりと換金し、回していく覚悟を示す上でも特別会計化をして、見える形にしておく考えはありますか。

町長 これについては一般会計の中の出し入れで十分間に合っているところなので、当面の間はその考え方でいきたいと思えます。

教育行政執行方針

質問

中

高生の居場所づくり事業について、具体的にどのようにするのか伺います。

教育長 地域共育ビジョンに基づく取り組みを進めていく中で子どもたちがほっとする場所がたくさんある地域を目指す必要があることと、子どもたちの居場所についての意見や要望が寄せられていたところです。

初年度の予定としては、プログラムを作る体験とソフトを活用した作曲や絵を描く体験活動から始めたいと考えています。それらを入り口にして、様々な活動が発展できるように進めていきます。

また、世代間交流やキャリア形成、コミュニケーション能力の向上が進めばと考えています。

再質問 副読本「しもかわ」の内容の見直しなどについて製本までのスケジュールと決定過程の考え方を伺います。

教育長 副読本「しもかわ」は、下川教育研究会が編さんの予定ですが、小学校より内容も大幅に変更したいとの相談があり、ページ数

が増える予定です。

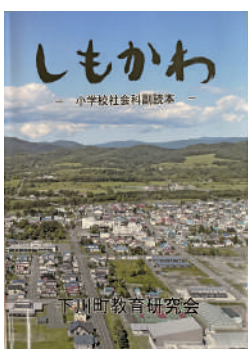
編さん・製本作業については令和4年度に行い、令和5年度からの活用に向けて進めていきます。

再質問 複数学年で扱うような教本になるのでどうか。

教育長 3年生と4年生で主に扱います。

再質問 この副読本は、買い取りになるのでしょいか。
教育長 町費による製本で、配付します。

再質問 令和4年は公債費の償還のピークとなる年ですが、ここから先の償還についての見通しを伺います。
町長 公債費の返済については、もうピークを迎えているので、これから下がっていく状況だと思えます。



小学校社会科副読本「しもかわ」
※現在使用のもの